

「林野庁メールマガジン」

森林（もり）づくりと木づかいのお便り

平成18年10月20日 第12号

CONTENTS

- 1 メッセージ（林野庁の紹介）
 - 【1】『林野庁とはこんなところ』（林業労働対策室長）
- 2 当庁の動き
 - 【1】平成17年木材需給表（丸太換算）の概要（平成17年1月～12月）
 - 【2】ピングー＆ピングを活用した新たな木づかい運動のポスターについて
 - 【3】間伐推進強化月間の取組について
- 3 緑化に関する情報
 - 【1】森林ボランティア活動情報
 - 【2】第5回「森の“聞き書き甲子園”」参加高校生と森の名手・名人の組み合わせの決定について
- 4 その他に関する情報（イベント情報等）
 - 【1】平成18年度（第45回）農林水産祭「実りのフェスティバル」について

イベント情報

 - 【2】農林水産省「消費者の部屋」のお知らせ
木づかい推進月間【第2弾】～国産材 使って減らそう CO2～
 - 【3】ウインターリゾート2007
 - 【4】第12回森林と市民を結ぶ全国の集い

編集後記

ご意見をお寄せ下さい。

1 メッセージ

『林野庁とはこんなところ』の12回目のご紹介は、林野庁林政部経営課の林業労働対策室です。

林業労働対策室（りんぎょうろうどうたいさくしつ）は、林業で働く人たちの減少、高齢化等に対応するため、新たに林業に就業を希望する者の募集や研修による人材の育成、労働安全の確保などに取り組んでいます。

今日は、その林業労働対策室をとりまとめている渡邊（わたなべ）室長のメッセージをご紹介します。

こんにちは。林業労働対策室の渡邊です。森林の持つ働きを十分に発揮するためには、間伐(木を間引くこと)など森林の整備(手入れ)をすることが必要です。そのためには、森林整備をする方々(担い手)がいなければ、これを行うことができません。しかし、山村の人口が過疎化により減少していることもあり、森林整備の担い手は年々減少しているのです。

これでは、森林の持つ働きが発揮できなくなってしまうので、林野庁では、「緑の雇用」事業をスタートして、担い手の確保に取り組んでいます。一般に森林整備は森林組合などの林業事業体が行っていますが、「緑の雇用」事業では、このような事業体に新たに就職する人に林業の技術を身につけてもらうための研修を支援するものです。

森林整備には、木を植えたり、下草を刈ったり、間伐を行うために木を伐ったりといういろいろな仕事があります。また、これらの作業は山の急斜面や足場の悪いところで行われますから、怪我のないよう注意して行うことが必要となります。このようなことを現場で勉強してもらうのです。

また、森林で仕事をしたい人の募集も行っています。東京、大阪などの大都市のほか、各地で相談会を開催しています。これまで、森林での仕事の経験のない人がたくさんみえています。自然の中で仕事をしてみたいという気持ちで来られる方が多いようです。林野庁のホームページ等で情報を提供していますので、是非ご覧になって、百年先へ届ける森林の仕事に参加してください。

2 当庁の動き

【1】平成17年木材需給表(丸太換算)の概要(平成17年1月~12月)

林野庁では、我が国の木材の需要量と供給量を調査して、木材需給表としてとりまとめ、公表しています。

木材需給表では木材を、用材(製材品や合板、パルプ・チップ等に用いられる木材)、しいたけ原木、薪炭材の大きく3つに区分し、丸太に換算した量で表しています。平成17年は、用材の自給率が上昇し7年ぶりに20%台になりました。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h18-9gatu/0929jyukyuhyou.html>

【2】ピングー&ピンガを活用した新たな木づかい運動のポスターについて

林野庁では、地球温暖化防止に向け、国産材をみなさんに広く利用してもらうための「木づかい運動」に取り組んでいます。このたび、ピングー&ピンガを活用した新たな「木づかい運動」のポスターを作成しましたのでお知らせします。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h18-9gatu/0926pingu.html>

【3】間伐推進強化月間の取組について

今、我が国のまた、人工林の多くが間伐が必要な時期を迎えています。林野庁

では、間伐の遅れた森林で積極的に間伐を実施し、健全な森林を育成するため、平成17年度から3年間で森林を計画的に整備する「間伐等推進3カ年対策」に取り組んでいます。特に10・11月は、間伐推進強化月間として、間伐推進中央協議会と連携して、間伐の推進や間伐材利用のための、さまざまな取り組みを実施しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h18-9gatu/0925kanbatu.htm>

その他のプレスリリースはこちら

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu.html>

3 緑化に関する情報

【1】森林ボランティア活動情報

〔1〕全国各地でボランティアによる森林づくりが活発に行われています。(社)国土緑化推進機構では、誰でも参加できる全国各地の森林ボランティア活動の情報を発信しています。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.green.or.jp/volun/info/katsudou.asp>

【2】第5回「森の“聞き書き甲子園”」参加高校生と森の名手・名人の組み合わせの決定について

「森の“聞き書き甲子園”」は、全国の高校生100人が「森の名手・名人」の技や人となりを「聞き書き」し、その成果を発信するものです。

世代を越えた交流による地域の活性化、青少年の健全育成、伝統技術の発掘・伝承、森づくりに対する理解の醸成が図られています。

第5回 森の“聞き書き甲子園”実行委員会では、新たな「森の名手・名人100人」に聞き書きを行う高校生100人を選定し、その組み合わせを行いました。

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu/h18-9gatu/0926kikikaki.html>

4 その他の情報（イベント情報等）

【1】平成18年度（第45回）農林水産祭「実りのフェスティバル」について

具体的内容 農林水産祭は、農林水産省と（財）日本農林漁業振興会が中心となって、昭和37年に東京都で開催以来、毎年開催されています。

農林水産業と食に対する国民の理解と認識を深めるために開催されます。

開催日 平成18年11月17日(金)～11月18日(土)
場 所 東京国際展示場(東京ビックサイト)
主 催 農林水産省、(財)日本農林漁業振興会

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/www/news/event/18minori/index.html>

イベント情報

【2】農林水産省「消費者の部屋」のお知らせ

木づかい推進月間【第2弾】～国産材 使って減らそう CO2～

具体的内容 10月は「木づかい推進月間」です。その一環として、「農林水産省」の消費者の部屋で特別展示を行います。
オフィスや事業分野での国産材利用の取組事例をご紹介します。

開催日 平成18年10月23日(月)～10月27日(金)
場 所 農林水産省1階 『消費者の部屋』(東京都千代田区)

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/soshiki/syokuhin/heya/kidukai20610.html>

【3】森林整備シンポジウム2006 in しまね

具体的内容 ボランティアによる森林整備や各種の間伐材利用の取組事例の発表、間伐・間伐材利用コンクールの表彰などが行われます。

開催日 平成18年11月9日(月)～11月10日(金)
場 所 島根県立大学、浜田市内

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/soshiki/syokuhin/heya/kidukai20610.html>

【4】ウインターリゾート2007

具体的内容 各地スキーリゾートの紹介や、さまざまなイベント・販売が行われます。

開催日 平成18年11月3日(金)～11月5日(日)
場 所 池袋・サンシャインシティ コンベンションセンター
展示ホールB・C 他
主 催 ウインターリゾート実行委員会

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.sunshinecity.co.jp/winterresort/about.html>

【5】第12回森林と市民を結ぶ全国の集い

具体的内容 1996年から始まったこの集いは、市民を中心とした森づくり運動を全国的に広めています。

開催日 平成18年11月11日(土)～11月12日(日)

場 所 大阪府大阪市ほか7ヶ所

主 催 (社)国土緑化推進機構、第12回森林と市民と結ぶ全国の集い実行委員会、大阪 山に親しみ森づくりを推進する実行委員会、大阪府

詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.ogtrust.jp/gathering.htm>

編集後記

「木づかい運動」普及のためにピングーとピンガがやってきました。みなさんは彼らが南極に住む皇帝ペンギンであることをご存じでしたか？温暖化がこのまま進むと皇帝ペンギンの住みかが奪われてしまうかもしれません。

彼らのかわいい姿がいつまでも見続けられることを願って「木づかい運動」に参加しましょう。

ご意見をお寄せ下さい。

御意見、御要望、又は転載を希望される場合は、下記編集発行先にメールにてお寄せください。

ご注意

メールマガジンに掲載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

PDFファイルをご覧頂くためには林野庁ホームページ

<http://www.rinya.maff.go.jp/puresu.html>

をご覧ください、「Get Adobe Reader」のボタンでAdobe Readerをダウンロードしてください。

編集発行

〒100-8952 東京都千代田区霞が関 1-2-1
林野庁 広報室 TEL 03 - 3501 - 3967
E - mail : kouhou_rinseika2@nm.maff.go.jp

メールマガジンのバックナンバーや配信停止の手続き及びメールアドレスなどの
会員情報の変更は下記サイトで手続きをお願いいたします。

パスワードをお忘れの場合はパスワードの再発行をしてください。

バックナンバーは、こちらからご覧ください。

<http://www.rinya.maff.go.jp/mailmagazine/mail.html>

メールアドレス等の変更

<http://www.maff.go.jp/mail/henko.htm>

変更には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

メールマガジンの配信停止

<http://www.maff.go.jp/mail/kaijo.htm>

配信停止の際には御登録いただいたメールアドレスとパスワードが必要です。

パスワード再発行

万一パスワードをお忘れの場合は下記より御登録いただいたメールアドレスを
入力して、パスワードの再発行をしてください。

<http://www.maff.go.jp/mail/password.htm>